



税金の大切さ

大田区立出雲中学校 三年 平林 舞桜

みなさんは税と聞いてどんな印象を持つでしょうか？私は、あまり良い印象を持っていませんでした。理由は、テレビやスマートフォンなどで、税に対する明るい報道を見たことがないからです。そこで実際には税とはどういうものなのかをいくつか調べてみました。

一つ目は、税金は何に使っているのかを調べてみました。私たちの身近なものでいうと学校の机やイス、校舎、教科書など、勉強をするのに欠かせないものに使われていることが分かりました。それから、私たちがかせを引いたとき、病院の診察料や薬などにも使われているそうです。また、道路や住宅などを整備する公共事業や、国の防衛などに使われているそうです。これらの中で一番税金を使っているのは、健康や生活を守る社会保障です。このことから、税金は私たちにとってとても大切なものであると分かりました。また、国民がとても大切にされていることが分かりました。

二つ目は、税金がなくなったらどうなるのかをまずは自分が考えてみました。私は、税金がなくなったら、学費が高くなり学校に行ける子供が少なくなったり、病院に行く人が少なくなり大きな病気の発見が遅く

なり、亡くなってしまう人が増えたりすると思いました。また、自分が年を取ったときに暮らせなくなってしまうと思いました。次にネットで調べてみました。もし税金がなくなったら、道路や橋などは、毎日人や車などが行き来したり、また風雨にさらされることで傷んでいたり、犯罪などを取り締まる警察官がいなくなる、子供たちが安心して学べる環境を整えるための費用を賄うことができなくなるなどが分かりました。私は、税金がなくなったら警察官がいなくなってしまうということに、とても驚きました。また、税金は国民を守るために必要不可欠なものであることが分かりました。

三つ目は、消費税について調べてみました。消費税とは、商品の販売やサービスの提供などの取引に対して課せられる租税です。だから、中学生でも払うことができる税です。一世帯当たりの年間消費税額は平均、十六万六千六百七十二円だそうです。消費税の年間総額は、二十一兆円となっていて、令和元年より増加しています。そして、その集まったお金は年金・医療費・介護・少子化対策に使われるそうです。また、消費税の目的は税体系全体を通ずる税負担の公平を図るとともに、国民福祉の充実等に必要なる歳入構造の安定化に資すためだそうです。

私は、税金について調べて税金の重要さを知ることができました。また、税金の使い方を決める人は国民が選んだ国会議員や市区町村、都道府県の地方議会議員を通じて決めることを知りました。なので、自分で国をどのようにしたいのかを考え、積極的に選挙に参加することが必要だと思いました。